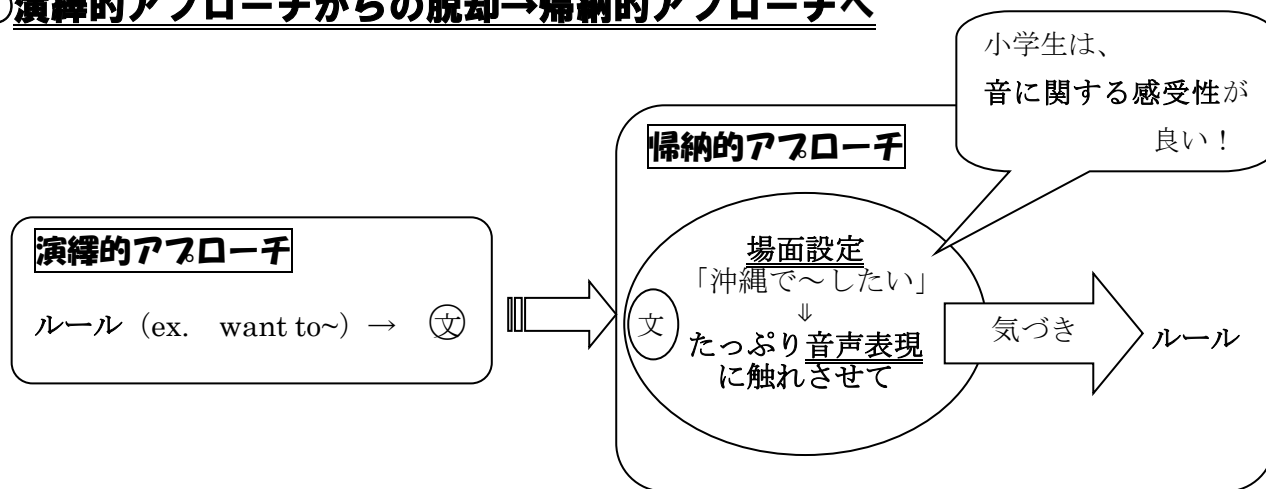


運動会練習中のお忙しい時期の校内研、お疲れさまでした。しっかりと主張のある素晴らしい提案授業をしてくださった5年生の学年グループの皆さん、授業者の松村先生、本当にありがとうございました。有意義な会になりました。

全員で「共有」し、「だれでも」できる「短期目標」を提案していきます。

☆今回のポイント☆

①演繹的アプローチからの脱却→帰納的アプローチへ



②和英辞典の活用について

自分に必要感のない単語をひくことはNO!

小学校：自己表現のため（文字指導）⇔ 中学校：自立的な学習者の育成

音声に触れ、音声で十分に慣れ親しんだ言葉について、文字指導・辞書活用へつなげていく。

③場面設定

コミュニケーションの場を設定する。

- ・小さな必然性を！ …ゲームをするために数字を聞き取る等
- ・ゴールへ向けた必然性を！ …旅行社でのやりとりをしよう！等

R元年度 残り半年で実践したいこと3つ!

① クラスルームイングリッシュ

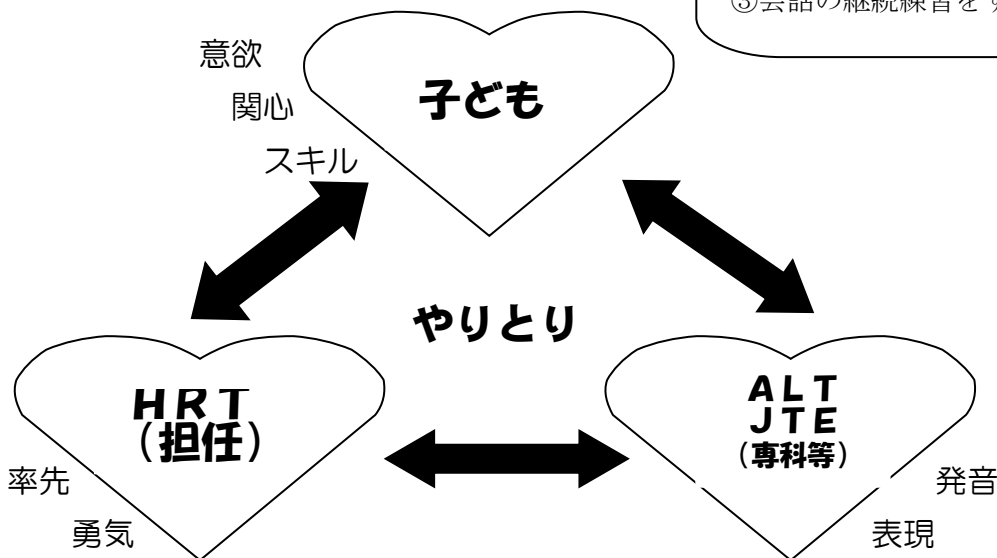
「これなら使えそう!」と思うものを20フレーズ選ぼう!

一日5分、英語に触れる機会を!!

② スモールトークタイムを作ろう!

ねらい

- ① コミュニケーションをとる。
- ② 既習の単語や表現を取り入れる。
- ③ 会話の継続練習をする。



(題材例)・好きな〇〇シリーズ What 〇〇 do you like?

(例) 色、動物、食べ物、スポーツ、数・・・

・食べた物シリーズ
What did you eat?

<魔法のことば>

How about you?
(あなたはどうか。)

③ 場面設定

必然性のある場面設定をしよう!

低学年・・・アクティビティーで使う単語や表現をたくさん練習できる。

中・高学年・・・擬似場面の設定。(例) 旅行会社・道案内・レストラン